

# キラリ☆加美っ子

## 学校教育目標

心豊かに ともに学び たくましく生きる児童の育成  
第2号 平成29年4月25日発行 景山 智子

## 参観授業・PTA 総会・評議員会へ

## ご参加ありがとうございました



現在、1年生の教室からは元気の良い声が聞こえていますし、2～5年生は、進級しそれぞれの教室で意欲的に学習に取り組んでいます。6年生は最上級生として、縦割り班での活動や加美小のリーダーとして頑張ってくれています。そんな中、22日に今年度最初の参観日がありました。国語、算数、社会などの授業参観をしていただきました。ちょっぴり緊張しながらも、おうちの方に見守られて、子どもたちは張り切って授業に取り組んでいました。加美小学校では、参観日や大きな行事で子どもたちの様子を見ていただく機会を設けております。おうちの方が来てくださると子どもたちは張り切ります。お忙しいと思いますが、年間計画に入れております参観日や運動会、学習発表会等の行事へのご参加、よろしく願いいたします。また、設定日のご都合の悪い方も、公開授業参観日のような期間は設定しておりませんが、お時間のあるときにいつでも学校にお越しください。

学級懇談で保護者の皆様に担任からお話をさせていただいた後、ランチルームでPTA総会を、昼食をはさんでPTA評議員会をもちました。総会は、94名の方にご参加いただきました。ありがとうございました。また、役員の皆様には長時間大変お世話になりました。今日から今年度のPTA活動が始まります。166名の子どもたちの笑顔のために、皆様のお力をお貸しください。学校と家庭がしっかり手を取りあって頑張っていきましょう。ご協力よろしく願いいたします。

### 学校支援ボランティア活動 <託児>

○総会や評議員会が終わるまで、子どもたちはそれぞれ宿題に取り組んだ後、読書をして過ごしました。岩野さん、小畑さん、柴本さんが託児をしてくださいました。ありがとうございました。



### 縦割り班顔合わせ 4/19



○前期の縦割り班顔合わせを行いました。自己紹介、縦割り掃除場所の確認や遠足の時の縦割り班遊びの決定などを6年生のリーダーが中心となって話し合いをしました。異学年の交流がこれから始まります。

## 4月の行事から

### 下校指導 4/11

加美駐在所の廣恵さんと美咲署の花谷さん、見守り隊婦人部の皆さんに来ていただき、安全な登下校をするために大切なお話をさせていただきました。みんなで「とまと」の約束を確認しました。「とまって、まって、とびださない」を忘れないようにしながら安全に通学しましょう。校門で見守り隊の方に見送っていただいた後、一緒に下校しました。



### 避難訓練 4/13

今年度最初の避難訓練でした。今回は理科室から火が出たと想定して、避難の練習をしました。ハンカチで鼻と口を覆って、「おはしも」の合い言葉に注意して、プールのそばまで逃げました。火事や地震はいつ起こるかわかりません。自分の命を守るための大事な訓練です。黙って素早く避難できました。

### 防犯ブザー教室 4/14

1年生が美咲署から防犯ブザーをいただきました。ランドセルに取りつけ、自分の身を守ります。大事な「いかのおすし」がプリントされたハンカチもいただきました。大事に使いましょう。



### 離任式 4/14

平成28年度末で転勤された3名の先生方をお迎えし、離任式を行いました。谷口先生、岡本先生、植月先生にそれぞれお世話になった学年の代表児童が、お礼のことばを伝えました。先生方は加美っ子に最後のメッセージを残してくださいました。見送りの花道では涙があふれましたが、先生方から教えていただいたことを胸に、みんなで頑張っていきたいと思います。

### 児童朝礼 4/17

今年度1回目の児童朝礼でのお話は、原田にお住まいで、パワーリフティング選手権全国大会3位の大光智史さんをお願いしました。大光さんは社会人になってからこのスポーツと出会い、仕事が終わってから、日トレーニングされておられるそうです。大光さんが日ごろから大事にされているのは、「あきらめないということ」と「周りの人に感謝するということ」だそうです。練習で使っている道具をもってきていただいたので、子どもたちはもたせていただきました。苦しいときこそ、小さな目標をもってがんばり続けることが大事だという大切なお話を伺う良い機会となりました。





## ★子どもを前向きにする言い方



\* 自信がないのかなと感じたとき、我が子に試してみませんか？

### 1 「なぜできないの？」ではなく、「何が原因？」と聞く。

「なぜ？」は相手を責めることば。やる気をなくさないように、相手を責めない聞き方をすることが大事。「なに」ということばを使うことで、相手が答えやすい雰囲気をつくる。

### 2 「何度言ったらわかるんだ」と叱るのではなく、「わからないんだな」と受け止める。

無理矢理ほめる必要はない。その代わりに、認めて受け止める。事実をそのまま受け止めると相手は安心感を得て、積極的な気持ちになれる。

### 3 「目標は？」ではなく「どうなりたい？」と夢を聞く。

「こうなったらいいな」というイメージを持たせた後、夢が叶うまでの途中経過をイメージさせ、頭の中で疑似体験させる。夢を持たない人はいない。

### 4 「カッコいいと思う人は？」と聞く。

「あの人のようになりたい」という気持ちがやる気を引き出し、人を成長させる。あこがれている人、尊敬できる人、カッコいいと思う人を聞き、「こうありたい」というイメージを具体的に描かせる。

### 5 うまくいっているイメージがカギ

脳はイメージ通りに実現しようとする。「できない自分」をイメージすると失敗する。いつも「うまくできる自分」のイメージをもたせる。

### 6 「やってみろ」と背中を押す。

何でもいいからひとつのことをやりきる経験をさせると自信がつく。親として、その最初の一步を踏み出すサポートをする。



『いまどきの子の

やる気に火をつける

メンタルトレーニング』

メンタルトレーナー

飯山 暁朗 著

秀和システム発行 より